

【10年後の 社会経済情勢】	検討テーマに関する論点 【ワーキングチームでの協議内容】	目指すべき姿〔将来像〕	今 後 の 方 向 性
<p><b>地方分権 の進展</b></p>	<p><b>□ 産業構造の再構築</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「守備的な観点」と「攻撃的な観点」の両面を勘案した産業振興が必要</li> <li>○ 人口減少社会を迎える中、「攻撃型」とも言える輸出型の産業は重要であり、国際競争に打ち勝つことのできる先端的な製品の研究開発や基盤技術の高度化などに取り組むことが必要</li> <li>○ 資源・食糧問題に対応しつつ、国内市場の成熟化に伴う多様なニーズに応えていくため、安全・安心な農林水産物を活用した産業の振興など「守備的な観点」を持った内需型の産業の創出に取り組むことが必要</li> <li>○ 他地域と比べて優位性を持っている分野へ取り組んでいくことや、本県が有する「強み」を最大限に活用して将来の成長分野へ挑戦していくことが必要</li> </ul>	<p><b>目 標</b></p> <p><b>変革と挑戦を続ける産業拠点の形成</b> ～ 地域の“力”と“宝”を結集し 元氣な産業を生み育てる広島 ～</p>	<p><b>I 基幹産業の競争力強化</b></p> <p><b>1 最先端技術で世界を牽引</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 次世代技術の研究開発の推進</li> <li>○ 基盤技術の高度化の推進</li> <li>○ 知財を活かした競争力の強化</li> <li>○ 次世代自動車への挑戦</li> </ul> <p><b>2 新興国の成長を踏まえた新たな市場獲得戦略の構築</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新たな市場創出と広島標準の獲得</li> <li>○ 新興国における課題解決型ビジネスへの挑戦</li> </ul> <p>本文に記載の主な内容 事業のイメージ</p> <p>製品の中核部やコア技術を獲得し、世界をリード(リチウムイオン電池用正極材料、プリント基板プレス・研磨等)</p> <p>次世代自動車市場(EV, HV)の開発動向を見据え、カーエレクトロニクス等次世代技術開発に向けた取組みを実施</p> <p>国際標準や規格に関する戦略と、本社機能・研究開発機能の県内留置による新興国市場でのビジネス展開</p> <p>水処理、二酸化炭素削減等新興国が直面する課題の解決に資する環境技術をシステム毎輸出(プラント、制御システム、メンテナンス等)</p>
<p><b>グローバル化 新興国の台頭</b></p>	<p><b>□ 新興国の台頭を踏まえた製造業の国際競争力の強化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市場としての魅力が高まっている新興国市場については、国内外の拠点における機能分担を踏まえた上で、海外で得た“富”を県内に還元することを検討することが必要</li> <li>○ 県内企業が製造する部品に合わせなければ最終製品が作れないという構図に持ち込むなど、規格や認証等の標準化や、“事実上の標準”を考慮した戦略が必要</li> <li>○ 新興国が今後直面する様々な課題の解決には、広島県産業が工業的な発展を遂げる過程で培ってきた技術やノウハウが活用可能であるとの認識を持ち市場獲得策を検討することが必要</li> </ul>	<p><b>4つの将来像</b></p> <p><b>世界の中で輝く競争力のある産業拠点の形成</b></p>	<p><b>II 次世代成長産業への挑戦</b></p> <p><b>1 特定分野と主要技術への重点化〔分野〕</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 環境・資源・エネルギー関連産業</li> <li>○ 健康〔福祉・医療〕関連産業</li> </ul> <p><b>〔主要技術〕</b> バイオテクノロジー、ナノテクノロジー、情報通信技術</p> <p>県内の技術集積を活かし関連産業を振興</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化や健康志向の高まりなどニーズの高いこの分野の産業展開の可能性を検討</li> <li>・従来型の福祉的な視点のほか、いつまでも元気に活動するために必要な「健康維持・増進」の視点を持った産業展開を検討</li> </ul> <p>社会実験を通じて広島にふさわしい領域を選択 【イメージ:宮島でのマイクログリッド実験】</p> <p><b>2 環境・資源・エネルギー分野への挑戦</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 最先端の環境関連産業の創出</li> <li>○ 低炭素・循環型地域を目指した各地域特性に応じた環境・エネルギー産業の展開</li> <li>○ ものづくり産業における低炭素化の推進</li> </ul> <p>ハイオマスや地熱など各地域の資源を組み合わせさせて高効率・低コストで活用 廃棄物を「循環資源」として捉え活用した産業の創出を模索</p> <p>低炭素化技術を研究・開発、実証実験(製造工程、発電セクター等)</p> <p>航空宇宙、精密・光学・電子機器等のハイテク産業に係る部品・部材の製造、接着技術等の周辺部分に進出</p>
<p><b>地球環境問題 資源・食糧 問題</b></p>	<p><b>□ 複数の業種が融合した新しいビジネスの展開</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 製造業が有する技術やITを他の分野に活用するなど様々な業種を融合させていくことが必要</li> <li>○ 特に、市場の拡大が見込まれる「健康・福祉・医療」分野については、様々なアイデアと技術やノウハウを組み合わせた新たな産業創出に取り組むことが必要</li> <li>○ 新たなビジネスの検討にあたっては、自然・人財・特産品等各地域が有する資源の積極的な活用・組み合わせの観点や、ビジネスの手法による地域課題の解決の観点等が必要</li> </ul>	<p>ものづくり産業の集積を最大限に活用しながら、イノベーションによって、世界で通用する製品の中核部やコア技術を掌握し、最先端の次世代成長産業分野で世界を牽引する高度な産業拠点を形成</p>	<p><b>III 地域の元気を促す新たな産業の創出</b></p> <p><b>1 融合産業の創出</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 情報通信技術の活用や複数業種が融合した新たな産業の創出</li> </ul> <p><b>2 交流・賑わい型産業の創出</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 人や企業を惹きつける拠点型産業の創出</li> <li>○ 「誇れる地域の資源」の有機的連携による地域産業・観光産業の創出</li> <li>○ 広域連携につながる「ヒト、モノ、情報」の交流促進</li> </ul> <p><b>3 地域や社会の課題解決につながる新たな産業の創出</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ビジネスの手法を活用した社会課題等の解決</li> <li>○ 子どもやシニアをターゲットとした新たなビジネスの創出</li> </ul> <p>【イメージ:高齢者見守り、生活物資の宅配、高齢者をターゲットとした集客施設(シェアオ)】</p> <p>産業支援サービス業、集客・教育産業</p> <p>地域の資源を活用した新商品やサービスの開発等 観光資源の魅力向上とより多くの観光客の誘致を図るため、「健康」をキーワードとした定期的なイベントと観光を組み合わせた取組みを検討</p> <p>尾道松江線の利活用等 イメージ:山陰地域の地域資源を活用した商品開発、広域インバウンド観光</p> <p>ソーシャルビジネス等の可能性を検討 イメージ:フードバンク、耕作放棄地活用ビジネス</p>
<p><b>少子高齢化 人口減少 価値観・ライフ スタイルの さらなる多様化</b></p>	<p><b>□ 環境・新エネルギー関連産業の強化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 低炭素社会の実現が求められる中、環境と産業の両立が期待できる「環境・資源・エネルギー分野」については、地域特性に応じた領域に積極的に取り組むことが必要</li> <li>○ 環境浄化・修復等本県企業が有する環境技術のほか、廃棄物処理の適正化、二酸化炭素の排出量を抑える技術開発等循環型社会の実現を図っていくための取組みを実施していくことが必要</li> <li>○ 本県は、製造業の集積が高いという特徴から産業活動に伴って排出される廃棄物が多いが、こうした廃棄物を「循環資源」として捉え、活用していくという視点が必要</li> </ul>	<p><b>制約をチャンスに変える環境関連産業拠点の形成</b></p>	<p><b>拠点形成のための環境づくり</b></p> <p>知識創造とイノベーションを担う人財の育成・確保</p> <p>研究開発機能の強化と応用・普及に向けた仕組みづくり</p> <p>成長ステージに応じた資金供給</p> <p>広島版産業革新機構</p>
<p><b>IT化の進展</b></p>	<p><b>□ その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 他地域に比べて優位性を持っている領域については、広島県がリーダーシップを発揮して、広域的な産業振興を図っていくことが必要</li> <li>○ 交流と賑わいの創出により、地域のイメージアップと産業振興を図り、県内外の人や企業から選ばれるための取組みを行うことが必要</li> <li>○ 広島県産業の発展を牽引できるクリエイティブな人材や経営人材が育ち、定着するための環境整備をすることが必要</li> </ul>	<p>環境技術のトップランナーを目標として、環境に配慮した研究開発等更なるものづくり技術の高度化を追求することによって、環境制約を克服することのできる産業拠点を形成</p>	<p>地域内外の人や企業を惹きつける魅力ある都市機能を形成するとともに、地域に存在している「誇れる地域の資源」が地域活性化の切り札として戦略的に活用されるなど、交流と賑わいが実現できる産業拠点を形成</p>